



鎮守の森だより

NPO法人社叢学会ニュース

第130号

2024年7月17日

令和6年度社叢学会年次総会を住吉大社で開催

会報の発行を年4回に変更

令和6年度年総会並びに研究発表、シンポジウムを、6月22日(土)に住吉大社(大阪市)で開催した。今年も50人近い会員・一般市民が出席、市民の憩いの場となっている都市公園の成り立ちと神社との関わりについて知見を深めると共に、23日の見学会では最初の国土といわれる淡路島を訪れ、盛会裡に終了した。

総会では櫻井治男理事長の開会挨拶、加藤司郎・住吉大社権宮司からの歓迎挨拶の後、菅浩二理事を議長に選出。正会員総数189名のうち、委任状を含む110名の出席を得て、まず塩谷崇之理事が令和5年度事業報告・収支決算の説明と監査報告を、さらに郵送料の値上げを鑑み、会報の発行を4回に変更することを含めた令和6年度事業計画・収支予算について説明、それぞれを審議承認した。また第5号議案の理事の退任の件では、櫻井理事長が片岡智子理事の退任を提案、承認した。

引き続き報告事項ではOECM推進への取り組みについて前迫ゆり副理事長が、会誌への投稿規程の改訂について岡村穣理事が、また8月以降の事務局態勢について櫻井理事長が報告した。

最後に前迫副理事長が先の理事会で資格更新が認められた渡邊規矩郎氏に認定証を交付すると共に、今年度の社叢インストラクター養成事業についてセミナーなどの参加を呼び掛けた。

引き続き行われた研究発表では、岡村理事、武田義明理事、正会員の河村忠伸氏がそれぞれの研究成果を発表した。

慌しく昼食を済ませた後、6月14日に御田植神事が斎行されたばかりの御田(おんだ)で神事についての説明を聞いた。

シンポジウムでは、まず、丸山宏・名城大学名誉教授と小出英詞・住吉大社権禰宜が基調講演。丸山氏は近代公園制度と神社・社叢との関係について、小出氏は日本で最初の都市公園となった住吉公園の成り立ちに住吉大社が果たした役割について説明した。パネルディスカッションでは、コーディネータの上甫木昭春理事が趣旨説明とパネリスト紹介をした後、森本幸裕副理事長がOECMの視点も交えて丸山公園について、押田佳子・日本大学准教授が上野公園について発題、4人のパネリストが活発に意見交換、興味深い議論が展開された。

翌日の見学会では、雨の中を淡路島へ。まず伊弉諾神宮で正式参拝の後、本名孝至宮司から神社の由緒などを聞き、伊勢神宮遷宮の際に拝領した材で復元した二神が結婚の際に巡った天の御柱を拝観した。この後、入らずの森である社叢に足を踏み入れ、復元した植生調査をした澤田佳宏・兵庫県立大学准教授の説明を聞きながら社叢の実相を見学した。

昼食で旬の鰯に舌鼓を打った後、弥生時代の鉄器製造工房跡が復元されている五斗長垣内(ごっさかいと)遺跡を見学、淡路島教育委員会で発掘を担当した伊藤宏幸氏から詳細にわたる説明を受けた。

当日は、雨天が幸いしたのか、ほとんど渋滞することもなく、時間通りに全日程を終えた。

第1号議案

令和5年度事業報告書
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
通常総会の開催	総会審議	6月24日	富士山本宮浅間大社
理事会の開催（3回） 第71回 第72回 第73回	令和4年度総会開催等 令和5年度総会開催理事選任定 令和6年度総会運営等	6月23日 11月20日 3月14日	富士山本宮浅間大社社務所 社叢学会事務局 社叢学会事務局
定例研究会の開催 関西 第91回 第92回 関東 第87回 第88回 第89回 第90回 中部 第39回 福岡県 第12回	<OECM>30by30と社叢の役割 梅小路公園見学 社叢の保全とOECM 吉志部神社の社叢を含む紫金山公園の里 俳人小林一茶と江戸の園芸文化 受け継がれる狂言の心 川口市安行(植木のまち)見学 かいこがつむぐ新しい地場産業 櫛田川上流域の神社と社叢めぐり 第10回宗像国際環境会議に参加	10月4日 11月18日 4月22日 7月29日 9月30日 10月21日 3月10日 10月28日	梅小路公園 吉志部神社 國學院大學 國學院大學 川口市安行 秩父神社 八柱神社等 宗像大社
社叢保存活動	社叢見守り隊事業	通年	関東
会員証発行	希望する会員に発行	通年	希望者へ郵送
会報発行（6回）	「鎮守の森だより」（A4判・4ページ）	奇数月初旬	会員へ郵送
会誌発行	『社叢学研究』（A4判・72ページ）	3月初旬	会員へ郵送
社叢インストラクター養成事業	社叢インストラクター資格更新	3月	本部事務局
OECM推進事業	社叢の自然共生サイト認定にむけての研究 および広報	通年	関連各所

第2号議案

令和5年度事業会計決算(案)
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 収入の部		II 支出の部	
1 会費収入		1 事業費	
正会員会費	978,000	総会関係費	857,680
市民会員会費	128,000	定例研究会費	100,100
賛助会員会費	1,350,000	会報「鎮守の森だより」関係費	302,946
協力会員会費	570,000	会誌『社叢学研究』関係費	470,860
2 事業収入		社叢インストラクター養成事業費	0
社叢インストラクター養成事業	5,000	社叢管理事業	0
書籍販売	26,700	2 管理費	2,633,675
総会関連事業参加費等	709,070	雑給	1,200,000
4 雑収入		旅費交通費	96,000
寄附金	297,596	通信費	122,680
利息	14	地代家賃	924,000
		租税公課	450
		事務用品費	228,218
		支払手数料	56,784
		水道光熱費	5,543
		理事会関係費	0
		3 予備費	0
当期収入合計(A)	4,064,380	当期支出合計(B)	4,365,261
当期収支出差額(A)-(B)			-300,881
前期繰越支出差額(C)			1,080,814
次期繰越収支差額(A)-(B)+(C)			779,933

第3号議案

令和5年度事業報告書
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
通常総会の開催	総会審議	6月22日	住吉大社
関連事業の実施	シンポジウム・研究発表	6月22日	同上
関連事業の実施	伊弉諾神宮参拝等	6月23日	伊弉諾神宮等
理事会の開催(3回)		3回程度	リモート開催等
定例研究会の開催			
関西定例研究会	会員相互の研鑽、市民への啓発	6月・9月・11月・25年3月	関西地方の社叢等
関東定例研究会	会員相互の研鑽、市民への啓発	4月・7月・10月・25年3月	中部地方の社叢等
中部定例研究会	会員相互の研鑽、市民への啓発	1回程度	國學院大學他
福岡県定例研究会	会員相互の研鑽、市民への啓発	1回程度	太宰府天満宮等
社叢保存活動	社叢見守り隊事業	通年	全国
会員証発行	希望する会員に発行	通年	希望者へ郵送
会報発行(6回)	「鎮守の森だより」(A4判・4ページ)	5月・7月・10月・1月初旬	会員へ郵送
会誌発行	『社叢学研究』(A4判・72ページ)	2025年3月	会員へ郵送
社叢インストラクター養成事業	社叢インストラクター養成セミナー等の開催 社叢インストラクター資格検定試験の実施 社叢インストラクタークラブの運営	7~11月 セミナー最終日	
OECM推進事業	社叢の自然共生サイト認定にむけての研究および広報	通年	関連各所
ホームページおよびSNSの運営	会員並びに一般市民に対するPR	通年	インターネット

第4号議案

令和5年度事業会計決算
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 収入の部		II 支出の部	
1 会費収入		1 事業費	
正会員会費	960,000	総会関係費	900,000
市民会員会費	128,000	定例研究会費	100,000
賛助会員会費	1,350,000	会報「鎮守の森だより」関係費	200,000
協力会員会費	570,000	会誌『社叢学研究』関係費	400,000
2 事業収入		社叢インストラクター養成事業費	30,000
社叢インストラクター養成事業	25,000	社叢管理事業	3,000
書籍販売	15,000	2 管理費	2,155,000
総会関連事業参加費等	720,000	雑給	860,000
4 雑収入		旅費交通費	70,000
寄附金	30,000	通信費	150,000
利息	10	地代家賃	924,000
		租税公課	1,000
		事務用品費	70,000
		支払手数料	70,000
		水道光熱費	7,000
		理事会関係費	3,000
		3 予備費	10,000
当期収入合計(A)	3,798,010	当期支出合計(B)	3,798,000
当期収支差額(A) - (B)			10
前期繰越支出差額(C)			779,933
次期繰越収支差額(A) - (B) + (C)			779,943

第5号議案 理事退任の件 片岡智子

報告事項 OECM推進への取り組みの件／会誌『社叢学研究』投稿規程改訂の件／8月以降の事務局態勢の件

その他 社叢インストラクター資格更新認定の件／

社叢インストラクター 渡邊規矩郎氏が資格を更新

社叢インストラクターは、5年ごとの資格更新認定が求められるが、今年度は沖縄県で社叢調査、保全に努めておられる渡邊規矩郎氏の資格更新が認められた。

賀来宏和理事 日本造園学会賞・ 日本公園緑地協会北村賞を受賞

賀来宏和理事が、6月に、著書『一茶繚乱～俳人小林一茶と江戸の園芸文化』に対して、日本造園学会の著作部門日本造園学会賞を、また、長年の日本の公園緑地への尽力に対して日本公園緑地協会第46回北村賞を受賞した。

事務局から

- 1面にも記載いたしましたが、年に6回の会報発行を続けて参りましたが、今般の郵便料金値上げを鑑み、4回の発行に変更することとなりました。5月・7月・10月・1月発行の予定です。研究会等のご案内は決まり次第本学会ホームページに掲載いたします。ご不便をおかけいたしますが、ご理解くださいますよう、よろしくお願ひいたします。
- 7月末をもちまして、藤岡が退職することとなりました。8月からは、各事業については担当理事が、会員名簿の管理や会費の收受などの庶務は新たに島田賀子が担当いたします。出勤日は週2日になりますので、事務局への問い合わせ・連絡などはE-mail、faxでお願いいたします。

掲示板

編集後記

創刊以来、フジオカがほとんどの原稿を書きの、編集ソフトを駆使(ってほどでもない...)使ってが正解)してレイアウトしいの、の会報、8月以降はどうするのんという相談をしていたところ、某理事が「僕、やってもいいですよ」という珍しく積極的なお申し出。エライエライ!で、編集の詳細を説明していると、「え、原稿を印刷所に流してレイアウトしてもらってるんじゃないの?」だあ!!! バカヤロウ!! 「原稿は書きますから、その後は事務局にお手伝いいただいて。。。」って使わ!!

で、見学会。興味の赴くままにあっちへこっちへの研究者たち。「ウチの子も小さい時は、何かに気を惹かれるといふ~んと走って行っちゃって、親が心配しているのに、ああ面白かったって戻ってくるんです」って、子供じゃないし、このヒトたち。

今年はバス代がえらい値上がりし、添乗員さんをお願いする余裕は全くなく。ってことはフジオカが牧羊犬よろしくパタパタパタ。これが最後と思って走ったけれど、疲れたわ。

で、後回しにしていた通常教務やら、総会の残務やら、会報作りやら引き継ぎ準備やらで山積みの仕事を抱えているつちゅうに! 研究会記録を書いていけの、理事会・総会議事録を作っていてけの! どこまで人使いが荒いのん?

ざけねじやねっ!

いかんいかん、最後ぐらいはしおらしくする予定が暴言を吐いてしまった。

てなわけで、130回にわたり、ご愛読ありがとうございました。次回からに、乞う! ご期待! ってプレッシャー(?)かけてどーする!

(これからはのんびり悠々自適の藤岡 郁)

『原稿募集!』

『社叢学研究』第22号への投稿：原著論文、研究ノート、解説(図版・写真等を含めて刷り上がり8ページ以内：全角文字のみの場合、タテ書き14,500字以内・ヨコ書き18,500字以内)と活動報告(祭、音楽会、調査、ワークショップなどの実施報告、抱える問題点など)、社叢訪問記(各1,200字程度)を募集いたします。

締め切りは、論文等10月末 活動報告等1月10日。いずれも必着。

★会誌の投稿規程と論文の体裁、引用文献の記載方法を公開しています。投稿される方は、これに従って提出してください。<http://www.shasou.org/journal/format.pdf>

* 書評欄では会員の皆さま方の著作を取り上げています。出版された方は、ぜひご献本下さい。